

2021年度（2022年3月期）連結決算概要 および 2022年度（2023年3月期）業績予想

1.2021年度（2022年度3月期）決算実績 〈対前期〉

(1)決算実績のポイント 増収増益：増収は3期ぶり・増益は2期連続（純利益ベース）

都市ガス販売量	+141百万m ³	工業用（発電専用）需要家の稼働増等
電力販売量	+3,527百万kWh	小売件数増および卸供給先の需要増による販売量増
売上高	+3,800億円	原料費調整に伴う単価増などによる「ガス」の売上高増等
営業費用	+3,400億円	原油価格上昇影響などによる「ガス」の原材料費増等
営業外損益	+160億円	為替差益+129億円 持分法による投資利益+23億円
特別損益	+44億円	(当期) 投資有価証券売却益+41億円 固定資産売却益+22億円 減損損失△37億円 投資有価証券評価損△24億円 (前期) 投資有価証券売却益+52億円 固定資産売却益+31億円 負ののれん発生益+20億円 減損損失△102億円 投資有価証券評価損△44億円
配当金	:1株当たり35円の期末配当を実施します（1株当たり年間配当額 65円）。 :160億円・850万株（1.9%）を上限に自己株式取得を実施します。	

〈2022年3月末現在連結会社数：連結子会社 113社、持分法適用関連会社16社〉 (単位:億円)

決算実績表	2021年度	2020年度	増減	%
売上高 (歴代2位)	21,451	17,651	3,800	21.5
営業費用	20,274	16,874	3,400	20.1
営業利益 (歴代11位)	1,177	776	401	51.6
経常利益 (歴代9位)	1,267	705	562	79.8
親会社株主に帰属する当期純利益 (歴代7位)	887	495	392	79.3

〈参考値〉（符号は利益に対する影響を示す）

スライドタイムラグ(※)	△ 6	△ 121	115
年金数理差異償却額影響	109	8	101

(※)原料費調整制度において原油価格の上昇（下落）に伴う原材料費の増加（減少）が売上高の増加（減少）に先行することによる一時的な利益差異。

経済フレーム	2021年度	2020年度	増減
為替レート(¥/\$)	112.39	106.10	6.29
原油価格(\$/bbl)	77.15	43.36	33.79
平均気温(°C)(※)	16.3	16.5	△ 0.2

(※)お客さまそれぞれのご使用期間（前月の検針日から当月の検針日まで）における気温を平均したものを。

(2)都市ガス・電力販売量

		2021年度	2020年度	増減	%	
都市ガス	家庭用	百万m ³	3,077	3,207	△ 130	△ 4.0
	業務用	百万m ³	2,248	2,261	△ 13	△ 0.6
	工業用	百万m ³	6,197	5,787	410	7.1
	計	百万m ³	8,445	8,049	396	4.9
	他事業者向供給	百万m ³	1,609	1,735	△ 126	△ 7.2
	合計	百万m ³	13,131	12,990	141	1.1

家庭用：件数減、巣ごもり需要剥落影響
業務用：件数減
工業用：発電専用需要家の稼働増
他事業者向供給：供給先稼働減

小売お客さま件数(千件)：8,688 (対前期△175) ※小売お客さま件数は、ガス小売事業者としてのガス料金請求対象件数。

取付メーター数(千件)：12,202 (対前期+119) ※取付メーター数は、休止中・閉栓中・他社小売分を含む導管事業者としてのメーター取付数。

		2021年度	2020年度	増減	%	
電力	小売	百万kWh	11,305	10,482	823	7.9
	卸他	百万kWh	16,983	14,279	2,704	18.9
	合計	百万kWh	28,288	24,761	3,527	14.2

小売：件数増による販売量増

卸他：卸先の需要増

小売お客さま件数(千件)：3,014 (対前期+297) ※小売お客さま件数は、電力小売事業者としての電気料金請求対象件数。

(3)セグメント別売上高・セグメント利益 (単位:億円)

	売上高				セグメント利益			
	2021年度	2020年度	増減	%	2021年度	2020年度	増減	%
ガス	14,440	11,467	2,973	25.9	1,026	884	142	16.0
電力	4,678	3,959	719	18.2	111	86	25	27.8
海外	859	459	400	87.1	282	38	244	625.2
エネルギー関連	3,313	3,394	△ 81	△ 2.4	128	170	△ 42	△ 24.8
不動産	579	484	95	19.7	134	75	59	78.5
その他	1,075	1,104	△ 29	△ 2.6	20	38	△ 18	△ 46.8
調整額	△ 3,493	△ 3,218	△ 275	-	△ 488	△ 502	14	-
連結	21,451	17,651	3,800	21.5	1,215	791	424	53.5

(注) ・セグメント別売上高には事業間の内部取引を含んでいる。
・セグメント利益には持分法損益を含んでいる。セグメント利益の調整額の主なものは、各セグメントに配賦していない全社費用。
・「ガス」の主要な製品・サービスは、都市ガス、リキッドガス事業（液化石油ガス、産業ガス）、LNG販売、トレーディング等。
・「エネルギー関連」の主要な製品・サービスは、EPC/EPCC/プロジェクト事業（EPC/EPCC、EPC/EPCC等）、ガス器具、ガス工事、建設等。
・「その他」の主要な製品・サービスは、情報処理サービス、船舶等。

(4)主要計数 (単位:億円、%)

	2021年度	2020年度	増減		2021年度	2020年度	増減
設備投資	2,072	2,464	△ 392	D/Eレシオ	0.99	0.92	0.07
営業キャッシュ・フロー	2,896	2,293	603	ROA	3.0	1.9	1.1
有利子負債	12,205	10,659	1,546	ROE	7.5	4.3	3.2

(注) 有利子負債、D/Eレシオは2021年3月末との比較

2.2022年度（2023年3月期）業績予想

(1)通期見通しのポイント 対前期 増収増益（純利益ベース）

都市ガス販売量	△733百万m ³	発電需要減に伴う工業用の減等
電力販売量	+6,513百万kWh	卸向け販売量増等
売上高	+3,849億円	原料費調整に伴う単価増などによるガス事業の売上増、卸向け販売量増などによる電力事業の売上増等
営業費用	+3,626億円	原油価格上昇影響などによるガス事業の原材料費増等
営業利益	+223億円	ガス事業・電力事業の売上増による利益増 :販売単価増等による海外事業の利益増等

		2022年度	2021年度	増減	%
都市ガス販売量(百万m ³ , 45MJ)		12,398	13,131	△ 733	△ 5.6
電力販売量(百万kWh)		34,801	28,288	6,513	23.0
売上高		25,300	21,451	3,849	17.9
営業費用		23,900	20,274	3,626	17.9
営業利益		1,400	1,177	223	18.9
経常利益		1,270	1,267	3	0.2
親会社株主に帰属する当期純利益		920	887	33	3.7

経済フレームほか	2022年度	2021年度	増減
為替レート(¥/\$)	120.00	112.39	7.61
原油価格(\$/bbl)	85.00	77.15	7.85
平均気温(°C)	16.2	16.3	△ 0.1
スライドタイムラグ(億円)	279	△ 6	285

為替・原油変動の都市ガス粗利影響感度 (単位:億円)	売上高	原料	営業利益
円・ドルレートが¥1/\$円安	44	52	△ 8
原油価格JCCが\$1/bbl上昇	37	45	△ 8